

☆Have a Dream Project 2023 始動☆

多治見高校の進路指導は、卒業後にどこへ行くかを定める「出口」の指導にとどまりません。人生山あり谷あり、いろいろなことがあります。どんな時にでも夢を見出し努力できる人になってほしい。そんな願いと期待をこめて今年も皆さんを支援します。これが「多治高のHave a Dream Project」です。

【今年度の重点ポイント①】 2年生「探究ゼミ」を中心に進めてきた『総合的な探究の時間』に関して学年ごとのステージをより明確化し、皆さんの進路実現の基礎を築きます。

3つのステージ	自分軸で考える	自他の関わりから考える
1年生「探Q」	自分が明らかにしたい「問い」を見つけられるようになる。 → テーマ設定	他者の考えに対して、理解不足の点や疑問点を「問う」ことができるようになる。 → 質問
2年生「探究」	探究ゼミで「問い」を検証し、筋道をたてて書けるようになる。(動機・仮説・方法・結果・考察) → レポート作成	他者の発表に質問ができることに加え、質問されることでさらに自分の「問い」を深めることができる。 → 質疑応答
3年生「探🌐」	自分の学びたいことや場所について語ることができる。 → 志望理由書	多角的な視点から、客観的で論理的に自分の考えが書ける。 → 小論文

ここで、3年生の地球マークに込めた思いは、グローバルな視野をもち、自分の為、社会の為にできることを考えられるようになってほしい。英語が使えること以前に、自分の前提と相手の前提が必ずしも同じでないことを意識し、客観的で論理的なものを見方ができる「真の国際性」を身につけてほしいということです。**【今年度の重点ポイント②】**としては、進路指導室前の掲示を充実させ、皆さんが迷った時にふらっと訪れて、考えるきっかけ、相談する際のキーワードを得られる場所にします。

(文責：桑原)

♪3年の窓♪

1年間、「慕地(まっぐら)」に!

新学期がはじまって2週間が過ぎました。充実した日々を過ごせていますか。3年生には、希望進路の実現に向けた具体的な行動が求められます。課題テストの振り返り、各科目の予復習、授業の課題、自分で設定した課題(各科目の基礎力・応用力強化や、関心ある専門分野の情報収集や読書)等、力を付けようと考えたらすべきことは多いです。皆さんには今後、模試等で自分の現状の力を確認し、その後、レベルアップに必要な努力を重ねて、時が来たら再び模試等で自分の成長具合を確認するという、所謂、PDCA(プラン・ドゥ・チェック・アクション)サイクルで自分を磨いていくことが求められます。成長の過程で失敗はつきものですが、その時々で、よく考え、判断する力が重要になります。この部分の質は、伸びの幅に大きく関係します。4月下旬から7月の夏休み前までは、部活動のピーク、スポーツ交流大会・社会見学・桔梗祭等の学校行事、複数回の模試と、内容盛り沢山の日程になっています。心身の健康への配慮と時間の管理を十分に意識し、忙しい中にも自分の成長を確実に感じられる前半戦に必ずしましょう。

進路決定の道は人それぞれです。四年制大学進学を志す人が多いですが、短期大学や専門学校への進学を考えている人、就職を考えている人もいます。自分の進路希望実現に必要なことは何かを、各人が日頃からよく考え、動き続けることが大事です。上に、「慕地」に!と書きました。正に、皆さんに送りたい言葉です。進路希望実現のための努力は勿論、部活動や学校行事にも精一杯取り組み、皆が笑顔で卒業できる充実の1年にしましょう。(文責：石田)

『2年の窓』

世界のニュースの中の日本

海外の日本に関するニュースに触れるとしばしば、日本での報道のされ方と微妙に異なるものに出会うことがあります。先日、日本の岸田首相がアメリカのニュース雑誌「*Time*」の「The 100 Most Influential People of 2023」（世界で最も影響力のある 100 人 2023）に選出されたのをご存知でしょうか。

記事は「When, on March 21, Fumio Kishida laid a wreath in the stricken Ukrainian town of Bucha, Japan's Prime Minister remarked upon "great anger at the atrocity."」（3月21日、日本の岸田文雄首相が戦争で被災したウクライナの町のブチャで花輪を供え、『(ロシアの) 残忍性への強い怒り』を表明した。）という書き出しで始まり、続けて「Kishida, 65, knows the pain of war; he lost several relatives to the atomic bombing of Hiroshima, his ancestral home, and grew up on stories of their suffering.」（65歳の岸田首相は戦争の痛みを知っている。というのは、彼は祖先の故郷である広島の前爆で何人かの親戚の亡くしており、彼らの苦しみのお話に触れながら育ったからだ。）と、首相のウクライナ訪問と首相の生い立ちの背景を絡めて伝えています。これは岸田首相自身を取り上げる記事であることもありますが、日本の報道と少し切り口が異なるように見えませんか。

1つの事柄に対して、さまざまな見方が出来るということが「視野が広い」ということだと思います。「diversity」（多様性）が叫ばれている今だからこそ、日々の出来事に対してさまざまな角度から検討できないか少し意識してみてください。（文責：塩原）

『1年の窓』

吾日に吾が身を三省す（論語より引用）

1年生の皆さん、多治見高校での生活には慣れてきましたか？キャリアノートを開いて、今までの記録を振り返ってみましょう。起床・睡眠時間、宅習時間（勉強開始時間）は毎日だいたい同じ時間でしたか？手帳に記録することが手間に感じるかもしれませんが、自分の今までの予定、そしてこれからの予定や見通しを「見える化」することは非常に重要です。

なぜなら、視覚化されることで現状の課題と修正点が明確になります。そうして、微調整を繰り返し、無理のない自分に最適化された生活習慣ができていくからです。孔子の教えをまとめた論語に「三省」という言葉がでてきます。これは「何度も自分の行いを反省する」という意味を持ちます。手帳を上手に活用し、自分の行動を振り返りながらマネジメント力を鍛えていきましょう！

以下に私が目標を立てる時に考えることをリストアップしました。この考え方は大学4年時に卒業研究をするとき、先生から教えてもらいました。ぜひ参考にしてみてください。

1. 小目標、中目標、大目標とスモールステップで目標を立てること。
⇒例)小目標・・・週の目標 中目標・・・月の目標 大目標・・・半年、一年の目標 という具合に達成したい目標までの道のりを細分化すると、無理なくでき、修正しやすいからです。
2. 80%の力でこなせる目標にすること。
⇒100%の力で達成できる目標は、途中でしんどくなり、目標達成まで続かないからです。
毎日の小さな習慣の積み重ねで未来は変わります。少しずつ、できることからコツコツと・・・
はじめてやること、大事なことには時間がかかります。 ゆっくり確実に行きましょう。（文責：吉田）